

＜参考＞ 2008年度 橋本龍太郎記念 APFED 賞 受賞者一覧

賞	タイトル	実施国名	概要
金賞	焼畑農業管理による二酸化炭素及び他の温室効果ガスの影響低減	ネパール	焼畑農業は、バイオマスを燃焼することによる土地の荒廃化、温室効果ガス排出の原因となっていることから、このプロジェクトでは、1)傾斜地におけるアグロフォレストリーの推進、2)家庭用太陽光・バイオガス・調理用コンロの改善、3) ミミズを使った堆肥作り・有機農業の推進、4)組織作りや女性を中心とした生活改善を行うことによって、焼畑による土壌荒廃を防止し、温室効果ガスの排出抑制に資する活動を行っている。
銀賞	廃棄物管理改善と再生可能なエネルギー利用促進を目的としたクリーン開発メカニズムを使った官民協力ビジネスモデル	インドネシア	廃棄物処理場においてメタンガスの集積と利用を地域社会と共に行っている。国内自治体関係者の間でも高く評価される一方、このプロジェクトは CDM として UNFCCC に認知され、排出量取引合意が民間企業および世界銀行により結ばれている。
	地域生活の向上：持続的で安全な野菜生産の推進	インド・ バングラデシュ	統合的害虫管理 (IPM) は、2002 年から 2003 年に、バングラデシュ、インド、スリランカにおいて英国国際開発省が資金を提供して実施した、殺虫剤の使用を軽減しながら害虫対策を統合的に進める戦略である。この戦略は、害虫駆除を目的とした耕作地の衛生向上や生化学ホルモンを使ったワナの設置、天敵昆虫の使用などを通じ、殺虫剤の使用を軽減しながら害虫駆除を促している。プロジェクトは台湾に所在する世界野菜センター他、イギリス自然資源研究所などが支援し実施されている。

奨励賞	持続可能性を主流としたエネルギー消費ゼロのコミュニティ形成	インド	持続可能な都市開発と都市の快適さの追求を目的とし、環境配慮型建材の使用や炭素を排出しない空調の供給、熱効率の良い照明システムの導入などを進めるコミュニティ形成プロジェクト。
	中国北西部における持続的な建設のための能力育成	中国	<b>Adventist Development and Relief Agency China (ADRA)</b> は、1998 年以来エネルギー効率の良いわらを材料とした住宅技術の紹介、実証、転換を実施している。わら建材により 600 以上の居住家と 3 つの学校の建築を進め、その事業経費は赤レンガ建設に比べ割安となっている。この活動を通じて、200 人以上の地方政府行政官、建設業者、施工主象を対象としたわら建築の理論、技術、その方法についての研修を行った他、50 棟の家の建設を保証する代わりに、5 つの地方建設会社にわら圧縮機器の購入に対し 50%の助成している。
	フィリピン ダバオ・デル・ノルテ、スト トマス (Sto, Tomas, Davao del Norte,) 市における固形廃棄物の環境配慮型処理プログラム	フィリピン	マキシモエステーラ市長の新しい政策の下で、汚染と温暖化への取り組みの強化が進められ、そうした政策の一環として、「固形廃棄物環境配慮型管理規定 (2000 年)」の下で、廃棄物管理の改善が進められ、こうした施策を通じて、より良い景観をもたらすことが可能となり、市民より高く評価されている。